

2023年 8 月 8 日

各位

会社名 株式会社ポピンズ
 代表者名 代表取締役社長 轟麻衣子
 (コード番号 7358 東証プライム)
 問合せ先 取締役専務執行役員管理本部長 田中博文
 (TEL. 03-6625-2753)

2023年12月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2023年2月14日に公表した2023年12月期通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2023年12月期通期連結業績予想の修正 (2023年1月1日～2023年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 27,900	百万円 1,320	百万円 1,320	百万円 855	円 銭 88.17
今回修正予想 (B)	27,900	1,030	1,030	650	67.03
増減額 (B - A)	-	△290	△290	△205	
増減率 (%)	-	△22.0	△22.0	△24.0	
(ご参考) 前期連結実績	26,258	1,305	1,357	824	85.05

2. 修正の理由

売上高は据え置き、営業利益、経常利益、当期純利益、1株当たり当期純利益を修正いたします。

エデュケア事業では、待機児童が解消した後も社会に『選ばれ続ける』保育園と学童を目指し、エデュケアの質の向上と利益成長のために、保育職員の配置適正化、学童職員の配置不足解消、認可・認証保育所での園児数充足に向けた取り組みを加速しております。4月には採用費をかけて保育所における非正規職員から正規職員への採用シフトを図り、さらなる助成金獲得と非効率的な配置の是正に基づくコスト削減等により、利益率向上の施策を進めております。

一方で、当初の想定と比較して、保育職員の配置適正化および一部の認証保育所での園児数充足の遅れ、学童職員の配置不足解消のための費用が当初の想定より増加する見込みとなったこと、また、新規事業の収益化に時間がかかっていること、サクセッションプランに基づく組織再構築のための管理部門人員強化に伴う費用の増加などによる下半期の利益押下げ要因を見込んでおります。

上記を踏まえ、エデュケア事業、新規事業、管理部門を主因として業績予想の修正をするものです。

なお、当社グループの成長ドライバーと位置付けているファミリーケア事業は順調に成長を続けており、またプロフェッショナル事業においても、下半期は前年同期を上回る営業利益を見込んでおります。

3. 配当予想

配当予想の変更はありません。

※ 上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

以上